

学校図書館 Take Off!

No.19



本号の目次

トピックス 子どもゆめ基金助成事業報告	P. 2
1. 木村研さん講演とワークショップ	
2. 読書会(絵本・児童書・ヤングアダルト)とブックトーク	
紹介図書リスト	
学校図書館の現状と文科省～法整備とともに	P. 6
平成28年度要望書の概略	P. 7
これからの予定と情報	P. 8

いま、八王子の学校図書館がおもしろい!

学校に毎週一日来る図書館司書さんと授業の話をするのが楽しみです。私は小学校で主に理科の授業を受け持っている非常勤の教員ですが、単元のまとめや発展としてよく調べ学習をします。その時の資料の相談に司書さんは欠かせない人になっていきます。学校の蔵書を調べてもらったり、市の図書館の蔵書を調べてもらったりしながら、子どもたちへの資料提供に役立っています。

先日は学級担任が司書さんに相談していた国語の授業の資料を、たまたま一緒に探す場面がありました。司書がいる学校図書館の良さを、また改めて感じることができました。

その他、子どもたちへの読み聞かせ、読書環境の整備、子どもたちに図書館の使い方の直接指導等、様々な場面で活躍している司書さんに感謝しています。

せめてもう一日、もう一日、学校にいてもらえるような体制になればなあと思います。

(本会代表 宮本茂)

八王子に学校図書館を育てる会広報紙
二〇一六年十二月四日発行 第十九号

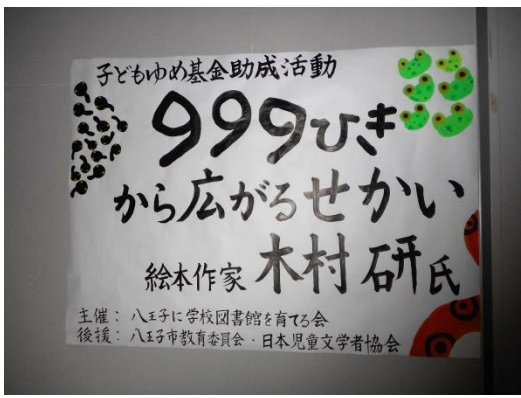
平成二十八年度子どもゆめ基金助成活動

講演

「九九九ひきから広がる世界」

絵本の世界 もっと楽しく

木村 研さん 講演会とワークショップ



九月十一日（日）

午後 後一時十五分
から午後四時まで、
生涯学習センター
クリエイトホール
で、『九九九ひき』
のシリーズで有名な
人気絵本作家、木
村研さんをお迎え
して講演会とワー
クショップが開か
れました。

会場は四十人の
参加者で大盛況

となりました。今回はワークショップも開催しましたので、お子さんが保護者の方と一緒に参加なさったことが印象的でした。

鳥取県出身の木村研さんは、年に何回も鳥取県や島根県松江市の図書館や学校に講師として出向かれるそうです。鳥取県、島根県といえ、学校図書館が充実していることで有名な県です。行政や学校関係者、図書館関係者が一体となって、学校図書館推進活動に熱心に取り組んでいます。また、木村研さんは、日本児童文学者協会の理事をなさっています。会が編集している『愛蔵版 県別ふるさと童話館』の『鳥取の童話』の一部を執筆なさっています。

***子どもの本離れについて**・・・子どものせいにしてはいけない。書き手の立場として、子どもたちに本の楽しさを伝えていきたい、本を読んで終わりではなくて、その後につながっていくことが大切である。

***『九九九ひき』シリーズについて**・・・『九九九ひきのきょうだい』『九九九ひきのおひっこし』『九九九ひきのはるですよ』『九九九ひきのおとうと』の4シリーズがある。大型絵本も発行され、全国の幼児、小学生、大人に愛されている人気絵本。中でも『九九九ひきのおひっこし』はドイツ児童文学賞2012「金の本の虫賞」金賞受賞。

お話を伺っていると、木村研さんご自身が育った大自然の中の池や田んぼで繰り広げられる生き物の世界の体験が『九九ひき』シリーズの原点のように感じました。

「子どもの目線で物事を見るようにして、子どもたちを応援したい。」というお気持ちも伝わってきました。

大人にせかされ、忙しい毎日を過ごしている子どもたちへの木村研さんのメッセージは

「**ゆっくり ゆっくり 生きたいね**」
です。このメッセージは、もちろん大人へのメッセージでもあります。

ワークショップ

木村研さんは児童文学作家でもあり、手作りおもちゃ研究者でもあります。講演会のあとは、「つくろう あそぼう 絵本の世界」の時間になりました。

「わたしは、子どもを待たせません。手をお膝において待ちましよう、なんて言いません。」のお言葉通り、



紙皿工作から始まり、次から次へと、それはたくさんのお子さんには仕組みの簡単なストロー工作を教え、作って遊ばせていただきました。

ただ遊ぶだけでは、なく、
作って、遊んで、発展させる

ことが大切であることをおっしゃいました。
今回のワークショップは、まさに

「**体験の風をおこす**」イベントでした。(大島真理子)

世界各国語に翻訳された
『九九ひきのはるですよ』



子どもめめ基金助成活動 読書会報告

昨年に続き、学校図書館に関わる方たちとの読書会を開催しました。昨年度まではボランティアさんとの交流会に『井戸端会議』を開催していましたが、今年には読書会と一緒にして、日頃感じていることを話すだけでなく、すぐに使える情報をお持ち帰りしてもらえぬ企画にしました。

- ① 6月13日(月) 絵本の会 参加15名
- ② 6月27日(月) 児童書の会 参加17名
- ③ 7月11日(月) YA(中高生向)の会 参加17名
(各回 午前9時30分〜12時)

各回、会員2名がブックトークを行い、その後参加者は一人持ち時間3分で持参したお薦めの本を紹介しました。



まだ出会っていないなかった本はもちろんですが、読んだことのある本でも違った角度からの紹介にもう一度読んでみたくなったり、読み語りに使えそうとこっそり思ったりしました。また、他の学校での取り組みや悩みを

共有してアドバイスをしたりもらったりと、元気になるひと時となりました。
ブックトークの一例をご紹介します。絵本の会より

テーマ：「数のふしぎ」 2・3年生対象

九九の学習でつまづくこともある算数ですが、数えたり測ったり計算したり呪いになったりする数を楽しんでほしい。また、「算数障害(ディスカリキュア LDの一種)」の正しい理解と大人には適切な指導についても考えてほしい。

紹介した本	流れ(シナリオ)
子どもに聞かせる「世界の民話」実業之日本社より『アナンシと五』	語り…数の呪い 1・2・3と数える
『ウラパン・オコサ』 谷川晃一 作/童心社	こんな数え方も …ひとつ：ウラパン、ふたつ：オコサ
『おまたせクッキー』 バット・ハッチンス作/ 乾侑美子訳/偕成社	減っていく数
『1つぷのおこめ』 デミ作/さくまゆみこ訳/ 光村教育図書	増えていく数
『算数の天才なのに計算ができない男の子のはなし』 バーバラ・エシャム文/ 岩崎書店	計算が苦手な男の子の話。「算数障害」の理解

3回の読書会で持ち寄られた本たち

	書名	作者	出版社
絵本	ぼうし	井上洋介	イースト・プレス
	トンちゃんてそういうネコ	MAYA MAXX	角川書店
	こんなことってあるかしら？	長新太	クレヨンハウス
	ひともしえほん	こんどうりょうへい	福音館書店
	きょうりゅうとこいぬ どっちがよい？	のぶみ・ひすいこうたろう	アリス館
	なみ	スージー・リー	講談社
	算数の天才なのに計算ができない男の子のはなし	バーバラ・エシヤム	岩崎書店
	およくひと	長谷川集平	解放出版社
	火星にいった三人の宇宙飛行士	ウンベルト・エーコ	六曜社
	じぶんだけのいろ	レオ＝レオニ	好学社
	そらいろ男爵	ジル・ボム／ティリー・デデュー	主婦の友社
	ハリーとうたうおとなりさん	ジーン・ジオン	大日本図書
	ギリギリかめん	あきやまだし	金の星社
	あくたれラルフ	ジャック・ガントス	童話館出版
児童書	十月のみずうみ	シンシア・ライラント	偕成社
	ふるさとは、夏	芝田勝茂	バロル舎
	赤ちゃんは魔女	ピアンカ・ピッツォル	徳間書店
	犬ロボ売ります	レベッカ・ライル	徳間書店
	のほらキッチンへぜひどうぞ	まはら三桃	講談社
	夏の庭	湯本香樹美	新潮文庫
	ロボット・カミイ	ふるたたるひ	福音館書店
	雨ががりのメデジン	アルフレット・ゴメス＝セルダ	鈴木出版
	カロリーヌのせかいのたび	ピエール・プロブスト	小学館
	ていでん★ちゅういぼう	いとうみく	文研出版
	めいちゃんの500円玉	なかがわちひろ	アリス館
	かさねちゃんにきいてみな	有沢佳映	講談社
	サリー・ジョーンズの伝説	ヤコブ・ヴェゲリウス	福音館書店
	ふしぎ駄菓子屋銭天堂	廣嶋玲子	偕成社
ヤングアダルト	ちゃんぼん食べたか！	さだまさし	NHK出版
	ワンダー	R. J. パラソ	ほるぷ出版
	ヒトリコ	額賀滯	小学館
	蝶々の纏足・風葬の教室	山田詠美	新潮社
	安政五年七月十一日	かつおきんや	牧書店
	種をまく人	ポール・フライシュマン	あすなる書房
	ホワット・イフ？	ランドール・マンロー	早川書房
	ねじの回転	H. ジェイムズ	新潮文庫
	アルジャーノンに花束を	ダニエル・キイス	早川書房
	セキタン！ぶちまかしてオンリーユー	須藤靖貴	講談社
	眠れなくなる宇宙のはなし	佐藤勝彦	宝島社
	鷹 上空数百メートルをかける職人のひみつ	多胡弘明	洋泉社
	山月記	中島敦	新潮社
	うたうとは小さないのちのひろいあげ	村上しいこ	講談社
	西の魔女が死んだ	梨木香歩	新潮社
	水の精霊	横山充男	ポプラ社

学校図書館の現状と文科省へ法整備とついで

昭和28（一九五三）年に制定の学校図書館法に「学校には、学校図書館を設けなければならない」とあるが、人的配置の明確な記載はなく、平成9（一九九七）年に司書教諭に関する改正がありました。そして平成26（二〇一四）年の学校司書に関する改正で、「学校司書」が法制化され、努力事項として配置を促しました。これを受け、各自治体のさまざまな呼称の学校図書館職員の名称が「学校司書」となったところが増えました。しかしその資格や身分、勤務形態が法制化されたわけではありません。

文科省は平成26（二〇一四）年の「学校図書館担当職員の役割及びその資質の向上に関する調査研究者会議」の報告で、「学校図書館は『読書センター』『学習センター』『情報センター』の機能を持ち、学校図書館の「運営・管理」と共に「教育指導への支援」に関する職務を学校司書が担うことを明確にしました。

そして平成28（二〇一六）年 10 / 13 付けの「学校図書館の整備充実に関する調査研究者会議」の平成28年度「学校図書館の現状に関する調査」には、

①学校司書の配置状況については、小学校59.2% 中学校58.2% 高等学校66.6% 但し、常勤の学校司書については、小学校12.4% 中学校16.7% 高等学校55.0%とあ

り、道はまだまだ遠く厳しく、学校司書の勤務状況は各地さまざまです。今年度の調査項目としては「開館状況」が新しく加わっています。

②「これからの学校図書館の整備充実について（報告）」として「『学校図書館ガイドライン』と『学校司書のモデルカリキュラム』が示されました。

ガイドラインには、アクティブ・ラーニングによる学びや、発達障害を含む障害や日本語能力に応じた支援の必要な児童生徒への支援にも言及しています。今後の取り組みとして、校長を学校図書館長として指名することや、教育委員会が学校図書館支援センターを設置することなどがあげられ、支援センターについては八王子は一歩進んでいると言えます。

同時に民間業者からの職員派遣や業務委託については、「学校図書館法に規定されている学校司書は、学校設置者が雇用する職員である。教育委員会は、学校司書として自ら雇用する職員を置くよう努める必要がある」との言及があり、これについても市の雇用職員として学校司書をおいている八王子は、正しく学校図書館行政をおこなっています。今後このガイドラインは、各教育委員会に通知することです。

モデルカリキュラムについては、科目数を24（現行20）とし、将来的に司書と教育の課程を履修する新しい学校司書の資格養成をめざした案を提示しています。

平成 28 年度「学校図書館の現状に関する調査」の結果(2016 10/13)
<http://melmaga.mext.go.jp/c/9LS016Q002JW>

「これからの学校図書館の整備充実について(報告)の公表について」
(2016 10/20)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/115/houkoku/1378458.htm

公表資料

「これからの学校図書館の整備充実について(報告)の概要」

http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afeldfile/2016/10/20/1378460_01_2.pdf

「これからの学校図書館の整備充実について(報告)(本体)」

http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afeldfile/2016/10/20/1378460_02_2.pdf

(田沼恵美子)

平成 28 年度 要望書 提出しました

本年度も『八王子市立小・中学校図書館の充実を願う要望書』を八王子市教育長へ提出しました。概要は左記のとおりです。

【要望事項】

- 1 専門・専任・正規の学校司書を全校に配置
- 2 学校司書の一人あたりの担当校数を、せめて2校×週2回に。同一校への派遣期間を最低でも3年、小中学校を兼務の場合、中学校区内の小中学校との連続性重視
- 3 「学校図書館サポートセンター」のさらなる充実
- 4 蔵書の充実
- 5 学校図書館管理システムの全校導入
- 6 市立図書館による学校支援の強化
- 7 学校図書館の専門性への支援

今年度は特に、改定される学習指導要領で提唱されている「アクティブラーニング」に応える学校図書館であるために、必要な人的支援、物的支援を盛り込んでいきます。年度末には回答をいただきに行く予定です。

本が好き、読書が楽しい、わかるってうれしい、そう実感できる子どもたちが一人でも増えることを願っています。

情報

●学校図書館のつどい

「生きた学校図書館をめざして」

日時 12月24日 13時30分

会場 武蔵野ブレイス4階

内容 講演 学習指導要領改訂の動向と

学校図書館

講師 鎌田和宏氏(帝京大学教育学部)

ワークシヨップでは、改定学習指導

要領へのパブリックコメントを参加

者で考えます。参加費800円

●右記講演会でも取り上げられるように、学習指導要領改訂に際して12月～1月に文科省よりパブリックコメントの募集があります。学校図書館の位置づけに、それぞれの立場から提案をしていきましよう。

●本会では会員研修として、八王子市内学校図書館の見学を予定しています。詳しくは事務局までお問い合わせください。

速報！近日開催

「子どもの本を読みましよう」

八王子に学校図書館を育てる会恒例、広瀬恒子さんの講演会です。新しい本の情報、話題の本の紹介、参加者にとって「！」な本が見つかります。

日時 12月4日(日) 13時30分

会場 八王子市中央図書館3階

参加無料。お問い合わせお申込みは梓外ホームページまたは事務局 FAX: 042-637-0178(桑原)から。

会員募集

正会員・・・本会のすべての活動に参加できます。

入会金500円、年会費1000円です。

賛助会員・・・広報紙やイベントの情報をお届けします。本会の活動を支援してください。個人、団体の方。年会費一口 1000円です。

編集後記

八王子市の小中学校全校に学校司書さんが入り半々がたちました。学校図書館は、学校は、変わってきているでしょうか。恒例の見学会を3学期に計画しています。学校図書館に子どもたちの声があふれていることを願って。